

2019年度(平成31年度/令和1年度)

学校関係者評価報告書

2021年(令和3年)2月28日

学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

1. 学校関係者評価

(1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

(2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

(3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

(4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

(5) 評価期間

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

(6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2021年2月25日（木） 14：00～16：00

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）8号館トラベルサロンよりZOOMにて実施

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 6名

（順不同 敬称略）

氏名	所属
原田 正隆	千葉市民活動支援センター センター長
横山 隆	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマーレ 総支配人/販売促進統括部長
山口 晋司	千葉都市モノレール株式会社 総務部 総合調整担当部長
小亀 さおり	地域
岩崎 正佳	両総観光株式会社 営業課課長
齊藤 信也	ANAスカイビルディングサービス株式会社 接客サービス事業本部 旅客サービス事業部 成田ラウンジ課課長

学校事務局 4名

氏名	所属
矢口 博士	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・本部長
竹ノ谷 卓也	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 副本部長
久保木 達也	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 国際事業本部副本部長
檜崎 さやか	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室室長

- (4) 内 容：・学校関係者評価の目的
・自己評価に対する学校関係者評価
・意見交換

3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目の達成と改善方策

(1) 教育理念・目標

評価項目		評価	意見・コメント
1	理念 目的 育成人材像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	・行政と連携が可能な資源はたくさんある。これらをどのように取り入れ、感性豊かな学生がそれらをどのように発信していくかを考える必要がある。
2		教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	
3		学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	
4	特色ある教育活動	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	
5	将来構想	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	

項目評価（平均） **3.4**

【改善方策】

- ・特色をより効果的に伝え、時代の変化とともに変化するニーズに合わせ、行政期間や企業との連携する機会を創出する必要がある。
- ・募集・教育・就職の各項目についてもプロセスを考察し実動していく。

(2) 学校運営

評価項目		評価	意見・コメント
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	特になし。
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

項目評価（平均） **3.6**

【改善方策】

- ・策定された方針・計画・業務分掌に則り、各人が達成のために与えられた役割や業務を意識し行動する。
- ・学生が企業実習などで守るべき規則や社会常識については認識が異なることもあるため、しっかりと教育を行う。

(3)教育活動

評価項目		評価	意見・コメント
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	・昨年度と比べると、評価が4から3になっている項目が4つある。それはなぜか。 ・専任講師と非常勤講師の割合はどのくらいか。 ・職業教育実践課程に認定されていない学科はどこか。
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか	
6		関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
7		授業評価の実施・評価体制はあるか	
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど取組が行われているか	3
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

項目評価（平均） **2.9**

【改善方策】

- ・教育課程の毎年の見直しと合わせて学習成果の達成に向けてどのような授業科目が連携し、年次担当しているかを示したカリキュラム・ツリーなどを検討する。
- ・新しい業界事情を常に取り入れられる教員を確保していく。

(4)学修成果

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職率	就職率の向上が図られているか	・特になし
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか	
3	卒業生 在校生の社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	

項目評価（平均） **3**

【改善方策】

- ・検定・資格の学科別目標の難易度や到達のためのプロセスなどの適正さを再検討する。
- ・授業科目等の目標は学校側で定める必要があるため、実働に向けて学内でプロセスを精査する。

(5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント	
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<p>・学校の様子などを伝える冊子等は保護者が学校生活を知る機会となつてとてもよい。</p> <p>・安全面や衛生面に配慮した学校運営を行ってほしい。</p> <p>・衛生対策として、これから新しい物品を購入するのではなく、うがい、手洗い、マスク着用、手指消毒を徹底することで十分に感染を防ぐ効果があると考えている。</p>
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	3	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	4	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	4	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	4	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	3	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・事由に応じて転科・転コース、奨学金制度の説明など臨機応変な対応力を職員が身につけるなどして、多様な学生へ対応していけるようにする。
- ・必要に応じて保護者への連絡などの対応していく必要がある。

(6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント	
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	<p>・障害をもっている学生はいるか</p> <p>・我々の周囲には障害を持っている方がいる。障害の有無に関わらず、お客様にサービスを提供する側になることができる、という特徴をうちだしてもよいのではないかと。</p>
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	3	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	

項目評価（平均） **2.8**

【改善方策】

- ・学内における盗難等に対して、「させない雰囲気づくり」や、学生個々の防犯意識を高め自己管理する必要がある。
- ・研修旅行などの学外でのイベントに関する催行可否のルールや、問題発生時の連絡ルートなどを定めた学内規程を作成する。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目		評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	・特になし
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	

項目評価（平均） **3.7**

【改善方策】

- ・高校への情報提供においては、新たな視点で伝える項目や伝え方を検討する。
- ・学科毎の経費バランスなどで精査する。
- ・広報担当職員だけでなく、学校教職員が業界の魅力と自校の特色を伝えられるようにする。
また、高校生にとって一番身近な在校生や卒業生の協力を得る。

(8) 財務

評価項目		評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	・特になし
2	予算 収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価（平均） **3.6**

【改善方策】

- ・予算担当者の意識改革と勉強会を行い共通意識を持ち、予算の執行管理を正確に行えるようにする。

(9) 法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営行っているか	・特になし
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・自己評価について100点となるための目標や項目を具体的に学内に定める。
- ・自己評価を学校運営の改善に具体的に活かしていくプロセスを短期、中長期で方策を考え、実行する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	・ボランティアの項目について、評価が2→3に上がっていることから、学校全体の努力が見えた。継続することで、地域において学校としてできることを地道に行っていくことで学校のイメージアップにもつながる
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	・ボランティアをすることにしりごみをせず、小さなことが社会貢献につながると考えている。

項目評価（平均） **3**

【改善方策】

- ・情報掲示板のようなものを用意し、ボランティア情報など身近にある環境を整備する。

(11) 国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	・おもてなしの感覚をもった留学生はどの業界においても必要とされている。お客様を観察し、その方のために尽くすことは日本の技術力だといえる。観光業界だけでなく、幅広い分野でも活躍を期待する。
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・今後留学生は減少傾向となるため、それを想定した戦略的な中長期計画を策定する。
- ・日本語学校時代のアルバイト時間超過などにより在留資格が更新できない学生が退学となってしまう事例が多くあったので、入学時の調査管理を徹底する。

7. 総評

学校は、安定した学生数を確保しており、円滑な運営といえる。学校評価で挙げられている項目に関しては、教職員はもとより各室より選出したメンバーによるPDCAサイクルが機能しており、少しずつではあるが学校運営の改善が図られている。今後は、各項目に対する学内の目標値（ゴール）を明確化するとより良い。